

平成24年度 甲状腺検査の実施状況（平成24年8月31日現在）

■福島市内対象者における甲状腺検査（一次検査）実施のための主な取組状況

- ① 検査対象者に対する考慮（受診機会の確保）について
 できる限り多くの方に検査を受診してもらうため、下記の取り組みを行い、その結果、平成24年8月31日までの実施期間（71日間）において、福島市の予定対象者53,619名に対し、44,959名（83.8%）の方が検査を受診した。
- 検査対象者のうち、児童・生徒については通学している学校で検査が実施できるように、1学期中に全対象校の検査を実施し、未受診者については、夏休み中に再度、公共施設で検査を受診できる機会を確保したこと。
 - 交通の利便性を考慮し、公共施設は福島駅周辺の施設で実施したこと。
- ② 甲状腺検査実施の前倒しについて
 対象者が50,000人超であったことから、下記の取り組みにより、より効果的、効率的な検査体制を構築し甲状腺検査を実施することで、福島市の検査実施期間を短縮することができた。
- 一日あたり700～800名を実施できる会場の確保を実現したこと。
 - 検査実施にあたっては、より高い水準での検査を実施できるよう精度管理を行うとともに、より効果的な検査受付・誘導等の検査体制を構築し、一日あたり700～800名の方の検査を実施することができたこと。

■福島市内対象者における甲状腺検査（一次検査）実施状況

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	受診率(%) イ/ア	年齢階層別受診者数(人)				イのうち県外 居住者数(人) ウ	県外居住者 受診率(%) ウ/イ
				年齢階層別内訳(%) ※1					
				0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～18歳		
H24 福島市	53,619	44,959	83.8	12,072 79.1 26.9	13,240 94.0 29.4	13,406 89.9 29.8	6,241 66.7 13.9	1,454	3.2
H24 福島市以外 ※2	-	216	-	68 -	59 -	63 -	26 -	62	28.7
H23年度 実施分	47,766	38,114	79.8	9,902 78.1 26.0	10,662 84.9 28.0	11,466 84.5 30.1	6,084 67.8 15.9	5,183	13.6
合計	101,385	83,289	82.2	22,042 78.7 26.5	23,961 89.8 28.8	24,935 87.4 29.9	12,351 67.3 14.8	6,699	8.0

※1 上段に各年齢階層ごとの対象者に対する進捗率を、下段には受診者数に対する割合を記載している。

※2 福島市以外には、南相馬市、伊達市、田村市、川俣町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、広野町、飯館村などが含まれる。

甲状腺検査の結果概要①

検査実施総数	H23年度	H24年度
	38,114人	42,060人

判定結果	判定内容	H23年度		H24年度	
		人数	割合	人数	割合
A判定	(A1) 結節や嚢胞を認めなかったもの	24,469人	64.2%	23,702人	56.3%
	(A2) 5.0mm以下の結節や20.0mm以下の嚢胞を認めたもの	13,459人	35.3%	18,119人	43.1%
B判定	5.1mm以上の結節や20.1mm以上の嚢胞を認めたもの	186人	0.5%	239人	0.6%
C判定	甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの	0人	0.0%	0人	0.0%

〔判定結果の説明〕

- A1、A2判定は次回（平成26年度以降）の検査まで経過観察
 - B、C判定は二次検査（二次検査対象者に対しては、二次検査日時、場所を改めて通知して実施）
- ※ A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した方については、B判定としています。
- ※ H24年度の検査結果については、検査結果が確定している8月24日検査分までを集計しています。

（参考）

判定結果		H23年度			H24年度		
		人数	割合	計	人数	割合	計
結節を認めたもの	5.1mm以上	184人	0.48%	385人 (1.01%)	232人	0.55%	385人 (0.92%)
	5.0mm以下	201人	0.53%		153人	0.37%	
嚢胞を認めたもの	20.1mm以上	1人	0.003%	13,383人 (35.11%)	3人	0.007%	18,139人 (43.13%)
	20.0mm以下	13,382人	35.11%		18,136人	43.12%	

※ 結節、嚢胞両方の所見に該当しているケースも存在

甲状腺検査の結果概要②

1 年齢区分及び性別による判定状況

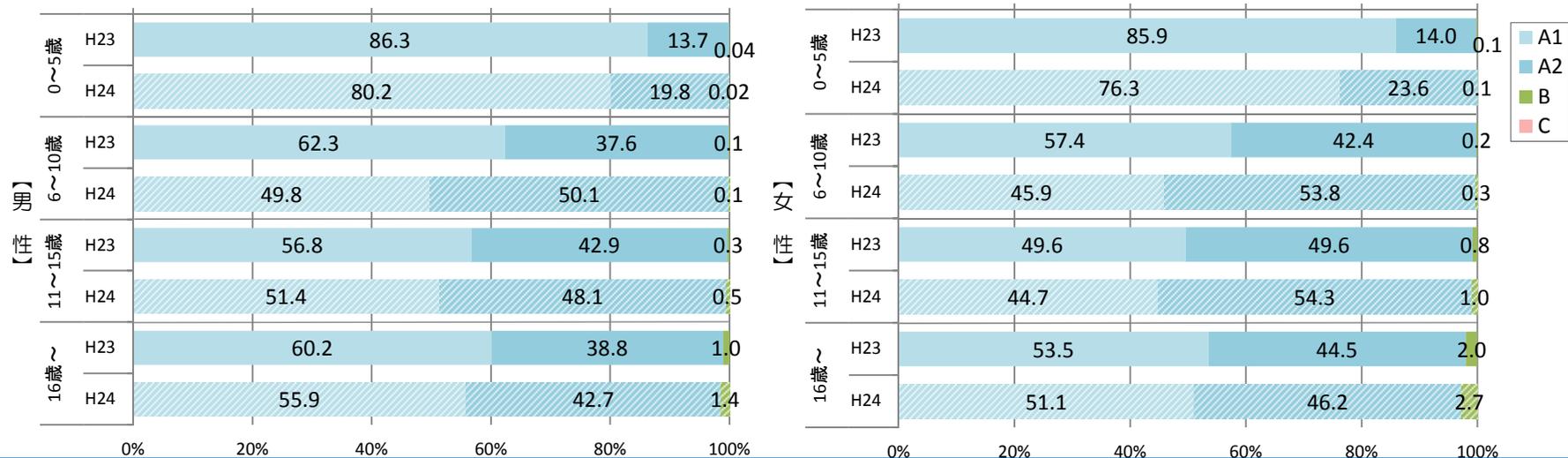
【H23年度実施分】

判定・性別 年齢区分	A									B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計												
0～5歳	4,332	4,194	8,526	685	682	1,367	5,017	4,876	9,893	2	7	9	0	0	0	5,019	4,883	9,902
6～10歳	3,406	2,985	6,391	2,052	2,202	4,254	5,458	5,187	10,645	6	11	17	0	0	0	5,464	5,198	10,662
11～15歳	3,262	2,838	6,100	2,466	2,834	5,300	5,728	5,672	11,400	18	48	66	0	0	0	5,746	5,720	11,466
16歳～	1,782	1,670	3,452	1,150	1,388	2,538	2,932	3,058	5,990	31	63	94	0	0	0	2,963	3,121	6,084
計	12,782	11,687	24,469	6,353	7,106	13,459	19,135	18,793	37,928	57	129	186	0	0	0	19,192	18,922	38,114

【H24年度実施分（検査結果が確定している8月24日検査分までを集計）】

判定・性別 年齢区分	A									B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計												
0～5歳	4,419	3,909	8,328	1,094	1,210	2,304	5,513	5,119	10,632	1	3	4	0	0	0	5,514	5,122	10,636
6～10歳	3,396	2,943	6,339	3,415	3,445	6,860	6,811	6,388	13,199	8	18	26	0	0	0	6,819	6,406	13,225
11～15歳	3,347	2,827	6,174	3,135	3,430	6,565	6,482	6,257	12,739	35	61	96	0	0	0	6,517	6,318	12,835
16歳～	1,414	1,447	2,861	1,082	1,308	2,390	2,496	2,755	5,251	36	77	113	0	0	0	2,532	2,832	5,364
計	12,576	11,126	23,702	8,726	9,393	18,119	21,302	20,519	41,821	80	159	239	0	0	0	21,382	20,678	42,060

2 年齢区分・性別・年度による判定割合



甲状腺検査の結果詳細（H23年度検査：結節について）

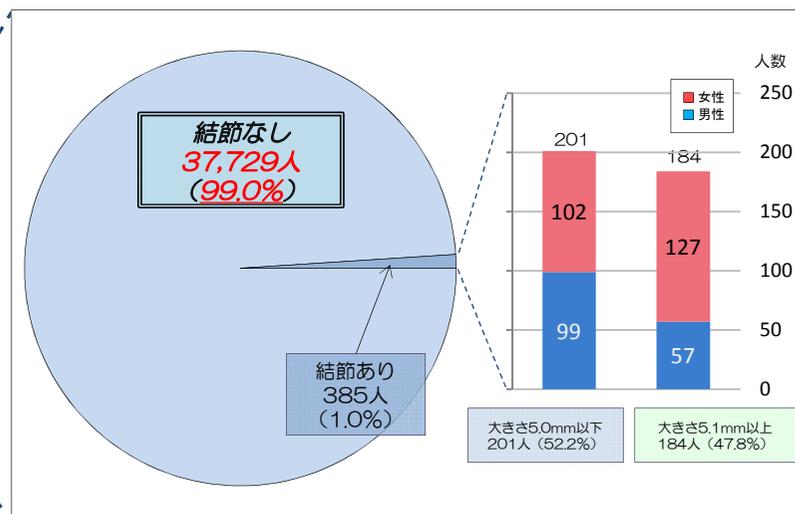
①平成23年度に実施した甲状腺検査において認められた結節(しこり)の有無及び大きさによる集計

(単位 人)

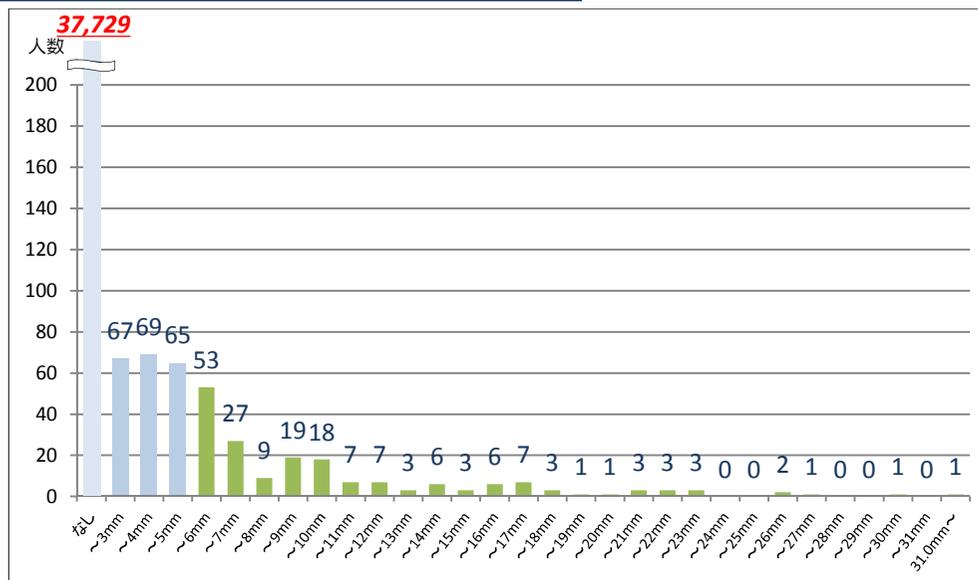
結節の有無・大きさ	全体	男	女	判定区分※	割合
なし	37,729	19,036	18,693	A 1	99.0%
~3.0mm	67	31	36	A 2	0.52%
3.1~5.0mm	134	68	66		
5.1~10.0mm	126	45	81	B	0.48%
10.1~15.0mm	26	3	23		
15.1~20.0mm	18	5	13		
20.1~25.0mm	9	2	7		
25.1mm~	5	2	3		
計	38,114	19,192	18,922		

※結節の大きさのみで判断した判定区分。

また、現在までC判定が1例もないため、判定区分にC判定の記載を省略



②結節(しこり)の有無及び大きさ別分布



集計結果

・H23年度に検査を受診した38,114人のうち、**1.0%の385人**に結節が認められた。

・結節の認められた385人のうち、結節の大きさにより、二次検査が必要となる方は**184人**であり、**全体に占める割合は0.5%である。**

また、上記の184人のうち、5.1mm~10.0mmサイズの結節が認められた方は126人であり、二次検査が必要な184人に占める割合は**68.5%**である。

・10.0mmを超える結節が認められた方は58名であり、全体に占める割合はさらに低くなり**0.15%**である。

・性別による差は、5.0mmまでのサイズではほとんど見られないが、5.1mm以上のサイズでは女性に多く見られる傾向がある。

甲状腺検査の結果詳細（H23年度検査：嚢胞について①）

①平成23年度に実施した甲状腺検査において認められた嚢胞の有無及び大きさによる集計

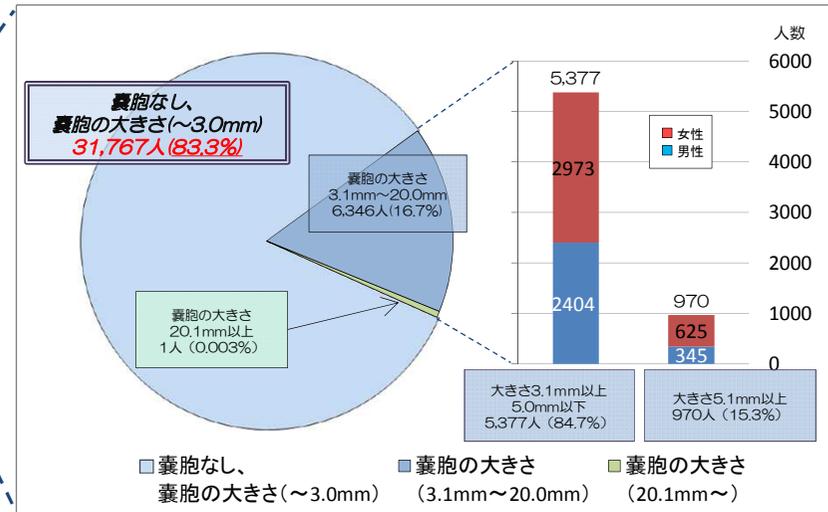
(単位 人)

嚢胞の有無・大きさ	全体			判定区分 ※1	割合 ※2
	男	女			
なし	24,731	12,891	11,840	A 1 (64.9%)	83.3%
～3.0mm	7,036	3,552	3,484	A 2 (35.1%)	
3.1～5.0mm	5,377	2,404	2,973		
5.1～10.0mm	949	341	608		
10.1～15.0mm	18	4	14		
15.1～20.0mm	2	0	2		
20.1～25.0mm	1	0	1	B (0.003%)	0.003%
25.1mm～	0	0	0		
計	38,114	19,192	18,922		

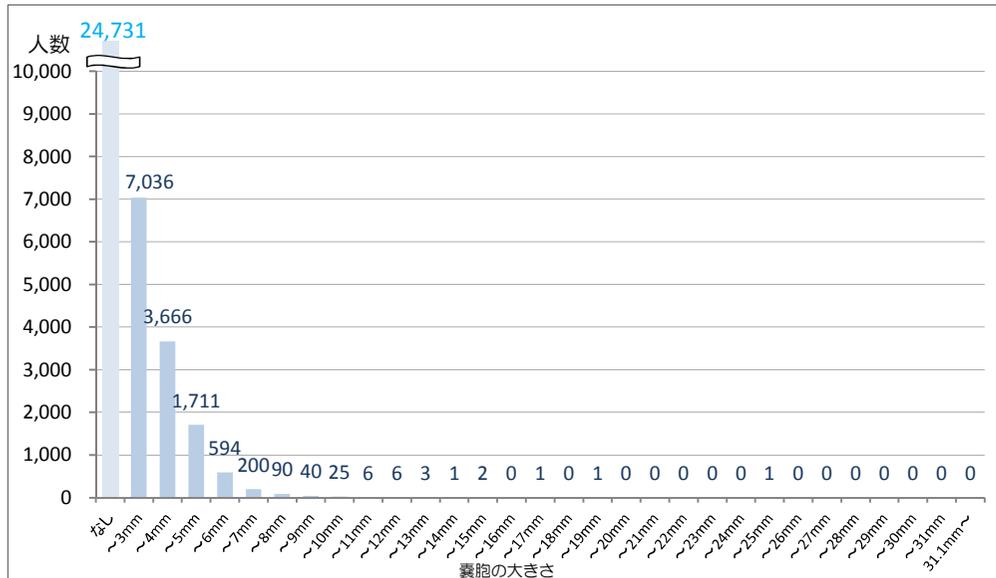
※1 嚢胞の大きさのみで判断した場合の判定区分

また、現在までC判定が1例もないため、判定区分にC判定の記載を省略

※2 “～3.0mm”を“なし”と併せて扱うのは、通常の診療行為においても3.0mmまでの嚢胞を嚢胞がない場合と同等に扱うため



②嚢胞の有無及び大きさ別分布

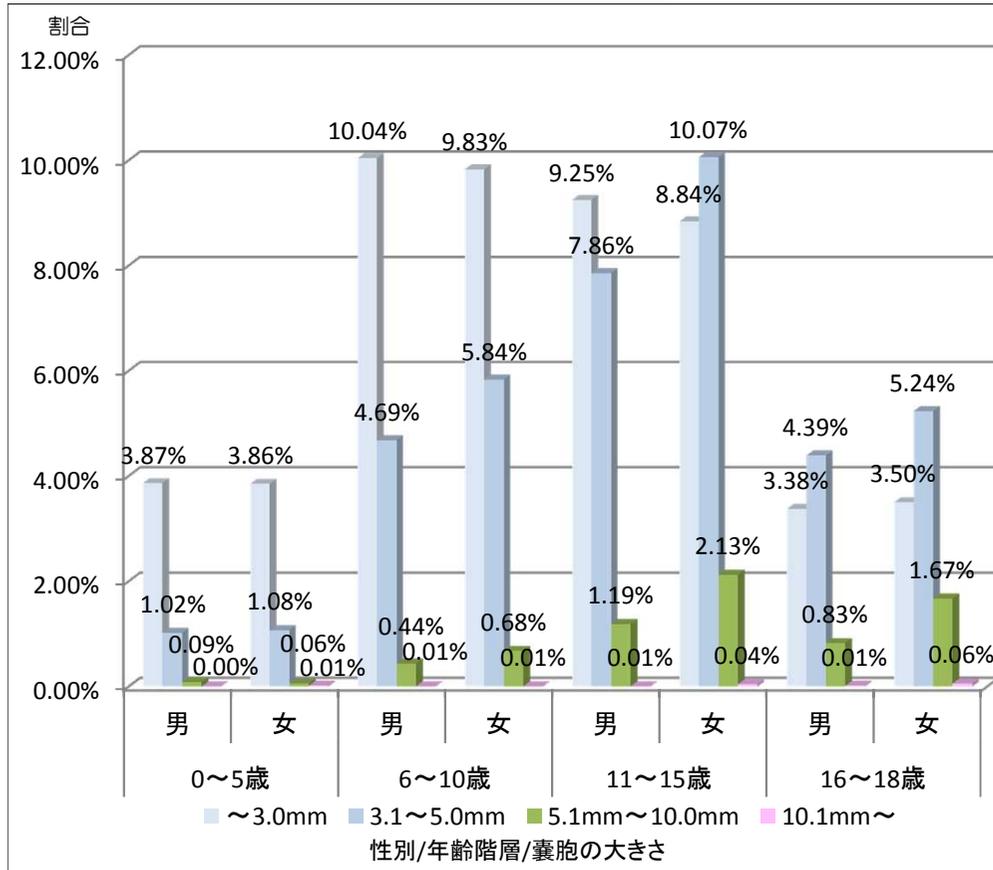


集計結果

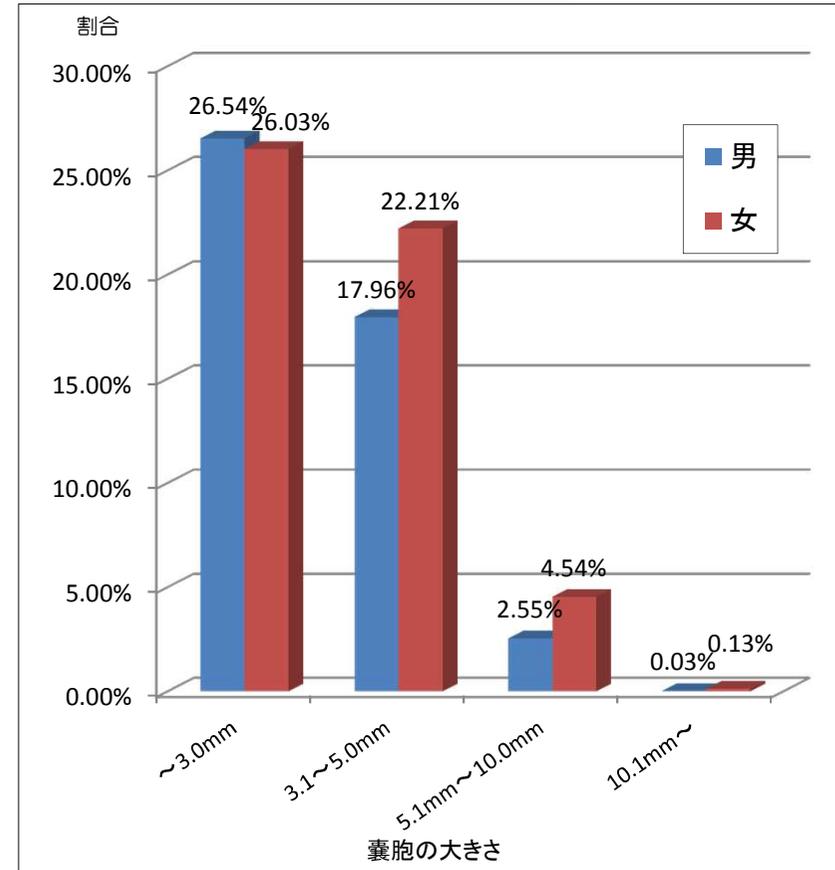
- ・H23年度に検査を受診した38,114人のうち、**64.9%の24,731人**の方には嚢胞は認められなかった。
- また、3.0mm以下の嚢胞については、通常の診療行為においても嚢胞がないものと同様に扱うが、その**3.0mm以下の嚢胞が認められた方は7,036人**である。
- 両者を併せた人数は**31,767人**であり、**全体に占める割合は83.3%**である。
- ・性別による差は、3.0mmまでのサイズではあまり見られないが、3.1mm以上のサイズでは女性に多く見られる傾向がある。

甲状腺検査の結果詳細（H23年度検査：嚢胞について②）

③年齢階層別及び性別による嚢胞の大きさの分布
（嚢胞のある13,383名に対する割合）



④嚢胞の大きさ毎の性別による比較
（嚢胞のある13,383名に対する割合）



集計結果

- 年齢及び性別による嚢胞のサイズ分布のグラフによると、3.0mmまでのサイズの嚢胞については、6~10歳に最も多く認められ、年齢が高くなるにつれて徐々に減少する傾向が見られる。
- 3.1mm~5.0mmサイズの嚢胞については、年齢とともに増加していき11~15歳の年齢層において多く認められ、16~18歳の年齢層においては減少している。また、同じような傾向が5.1mm~10.0mmサイズと10.1mm以上のサイズにおいても見られる。
- 性別による比較をすると、3.0mmまでのサイズでは性差はほとんど見られないが、その他の大きさでは女性に嚢胞が多く認められる傾向である。

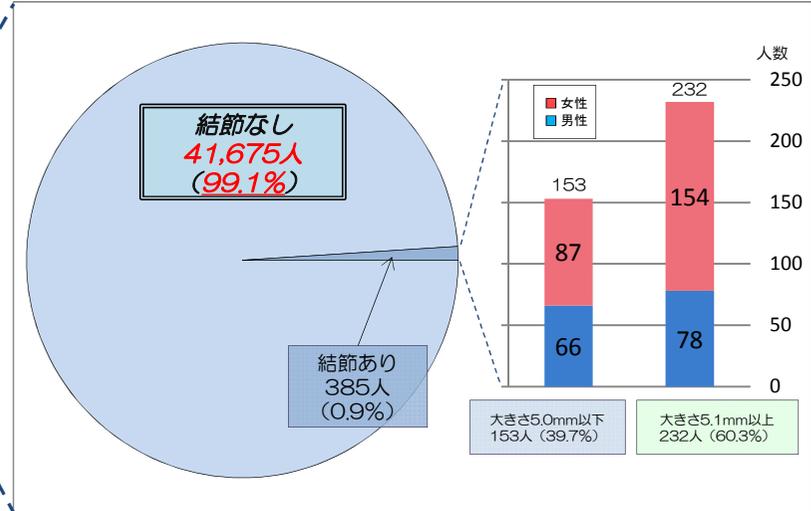
甲状腺検査の結果詳細（H24年度検査：結節について）

①平成24年度に実施した甲状腺検査において認められた結節(しこり)の有無及び大きさによる集計

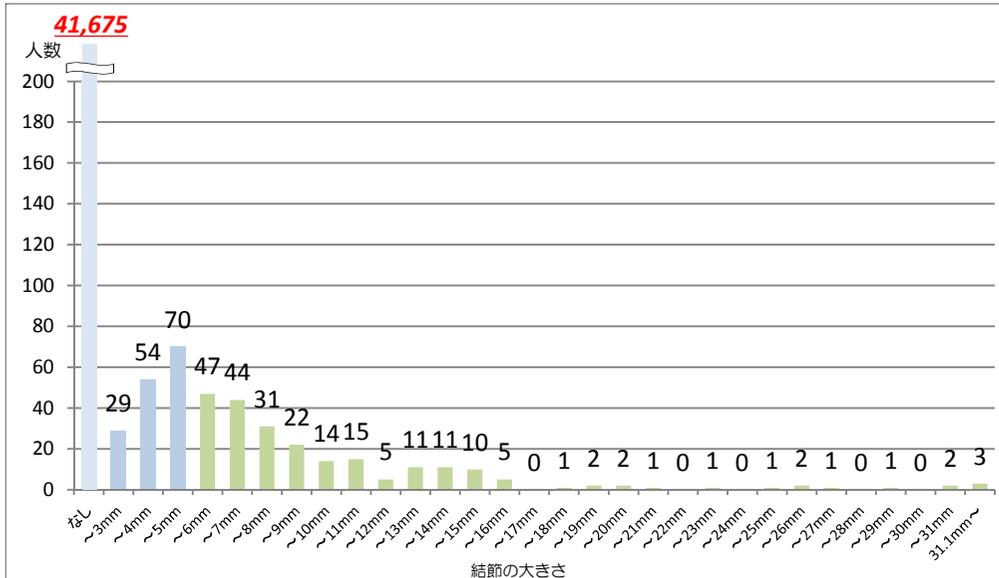
(単位 人)

結節の有無・大きさ	全体	男	女	判定区分 ※1	割合
なし	41,675	21,238	20,437	A 1	99.1%
~3.0mm	29	16	13	A 2	0.4%
3.1~5.0mm	124	50	74		
5.1~10.0mm	158	60	98	B	0.5%
10.1~15.0mm	52	10	42		
15.1~20.0mm	10	2	8		
20.1~25.0mm	3	2	1		
25.1mm~	9	4	5		
計	42,060	21,382	20,678		

※1 結節の大きさのみで判断した判定区分。
また、現在までC判定が1例もないため、判定区分にC判定の記載を省略。



②結節(しこり)の有無及び大きさ別分布



集計結果

- ・H24年度に検査を受診した42,060人のうち、**0.9%の385人**に結節が認められた。
- ・結節の認められた385人のうち、結節の大きさにより、二次検査が必要となる方は**232人**であり、**全体に占める割合は0.5%である。**
また、上記の232人のうち、5.1mm~10.0mmサイズの結節が認められた方は158人であり、二次検査が必要な232人に占める割合は**68.1%**である。
- ・10.0mmを超える結節が認められた方は74名であり、全体に占める割合はさらに低くなり**0.18%**である。
- ・性別による差は、5.0mmまでのサイズにおいても、5.1mm以上のサイズにおいても女性に多く見られる傾向がある。

甲状腺検査の結果詳細（H24年度検査：嚢胞について①）

①平成24年度に実施した甲状腺検査において認められた嚢胞の有無及び大きさによる集計

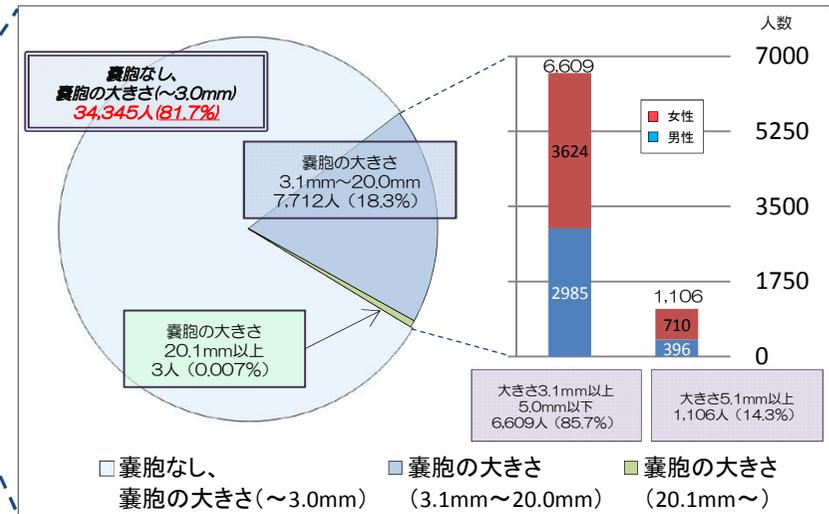
(単位 人)

嚢胞の有無・大きさ	全体			判定区分 ※1	割合 ※2
	男	女			
なし	23,921	12,664	11,257	A 1 (56.9%)	81.7%
～3.0mm	10,424	5,337	5,087	A 2 (43.1%)	
3.1～5.0mm	6,609	2,985	3,624		
5.1～10.0mm	1,069	381	688		
10.1～15.0mm	29	13	16		
15.1～20.0mm	5	1	4		
20.1～25.0mm	1	0	1	B (0.007%)	0.007%
25.1mm～	2	1	1		
計	42,060	21,382	20,678		

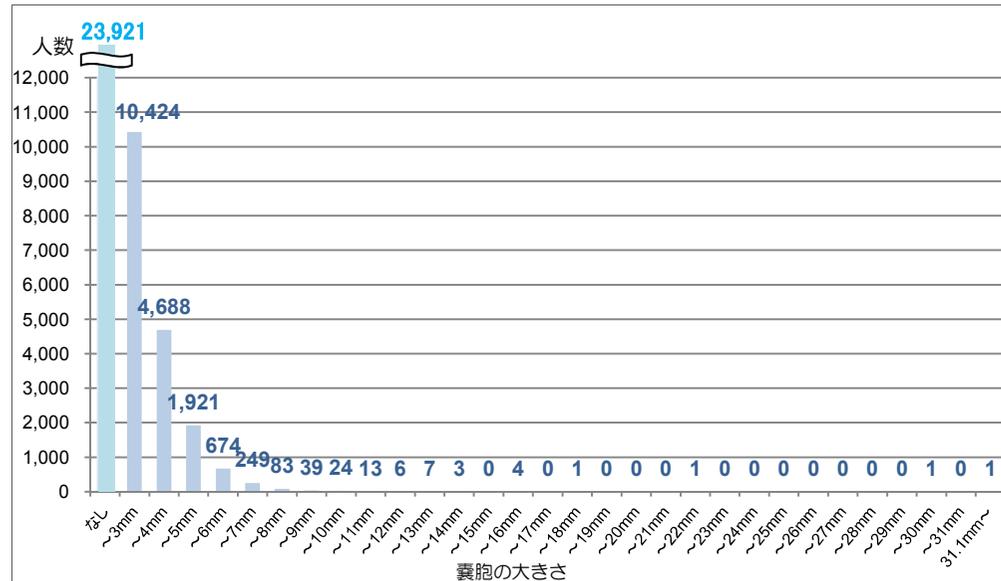
※1 嚢胞の大きさのみで判断した場合の判定区分

また、現在までC判定が1例もないため、判定区分にC判定の記載を省略。

※2 “～3.0mm”を“なし”と併せて扱うのは、通常の診療行為においても3.0mmまでの嚢胞を嚢胞がない場合と同等に扱うため



②嚢胞の有無及び大きさ別分布

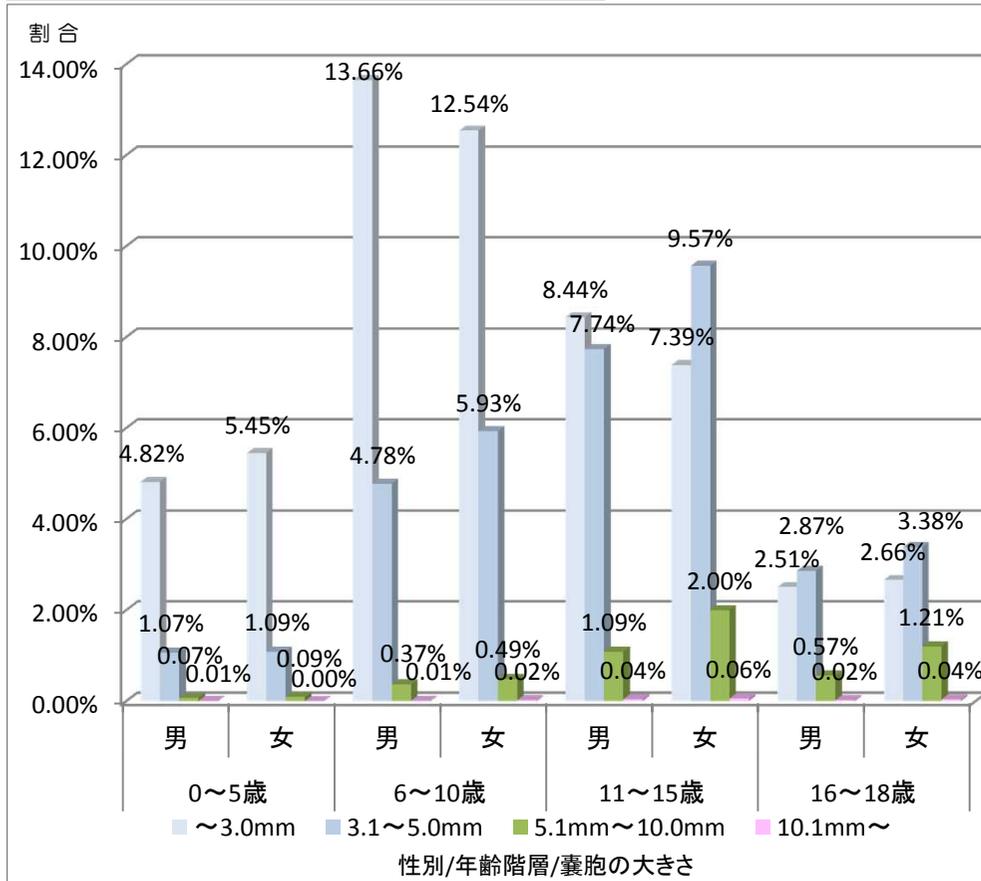


集計結果

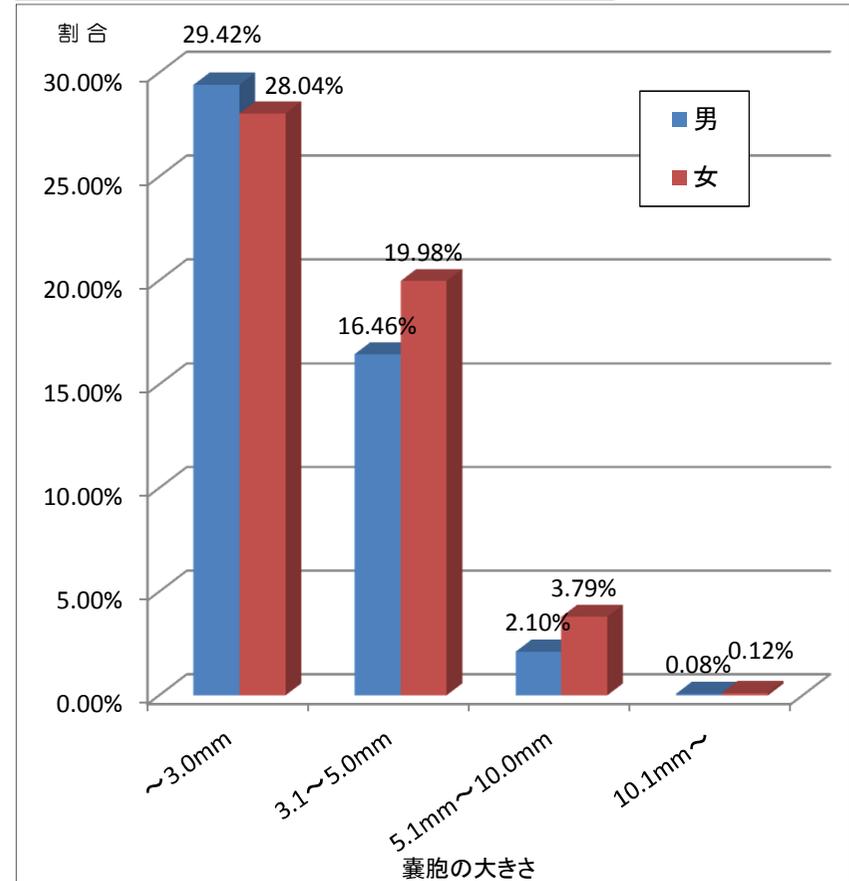
- ・H24年度に検査を受診した42,060人のうち、**56.9%の23,921人**の方には嚢胞は認められなかった。
- また、3.0mm以下の嚢胞については、通常の診療行為においても嚢胞がないものと同様に扱うが、その**3.0mm以下の嚢胞が認められた方は10,424人**である。
- 両者を併せた人数は**34,345人**であり、**全体に占める割合は81.7%**である。
- ・性別による差は、3.0mmまでのサイズではあまり見られないが、3.1mm以上のサイズでは女性に多く見られる傾向がある。

甲状腺検査の結果詳細（H24年度検査：嚢胞について②）

③年齢階層別及び性別による嚢胞の大きさの分布
（嚢胞のある18,139名に対する割合）



④嚢胞の大きさ毎の性別による比較
（嚢胞のある18,139名に対する割合）



集計結果

- 年齢及び性別による嚢胞のサイズ分布のグラフによると、3.0mmまでのサイズの嚢胞については、6~10歳に最も多く認められ、年齢が高くなるにつれて徐々に減少する傾向が見られる。
- 3.1mm~5.0mmサイズの嚢胞については、年齢とともに増加していき11~15歳の年齢層において多く認められ、16~18歳の年齢層においては減少している。また、同じような傾向が5.1mm~10.0mmサイズと10.1mm以上のサイズにおいても見られる。
- 性別による比較をすると、3.0mmまでのサイズでは性差はほとんど見られないが、その他の大きさでは女性に嚢胞が多く認められる傾向である。

平成24年度 甲状腺検査（二次検査）の実施状況

■甲状腺検査（全県先行検査）二次検査概要

1 検査実施内容

- 甲状腺検査（一次検査）を実施し、しこり（結節性病変）等が認められた場合は、福島県立医科大学附属病院において、二次検査（詳細な超音波検査、採血、尿検査、必要に応じて細胞診等）を実施する。
- A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した方については、B判定として二次検査を実施。
- 二次検査対象者については、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターから改めて二次検査の日時、場所を通知して実施。

2 検査項目

- 詳細な超音波検査
 - ・超音波検査機器を使用した検査
- 血液検査
 - ・TSH（甲状腺刺激ホルモン）、FT-3（遊離トリヨードサイロニン）、FT-4（遊離サイロキシン）、Tg（サイログロブリン）、Tg-Ab（抗サイログロブリン抗体）、TPO-Ab（抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体）
- 尿検査
 - ・尿中ヨウ素
- 穿刺吸引細胞診
 - ・詳細な超音波検査の結果、良性か悪性かを判断するために、しこりから細胞を吸引する。

3 検査結果

- 二次検査の結果通知については、検査対象者に詳細な二次検査の結果を直接説明する。

■甲状腺検査（全県先行検査）二次検査実施状況（平成24年8月31日現在）

	二次検査対象者 (ア)	検査実施者 (イ)	再検査中 (ウ)	二次検査終了者(エ)						二次検査 のべ人数	
				イ/ア率	ウ/イ率	エ/イ率	2年後検診 ※1		通常診療へ移行 ※2		
							A1	A2	計		細胞診実施
23年度 実施市町村	186	60	22	38	4	6	28	14	14	118	
合計	186	60 32.3%	22 36.7%	38 63.3%	4	6	28	14	14	118	

※1 異常なしのため、次回は26年4月以降の本格検査において検査を実施する受診対象者。

※2 概ね6か月後または1年後に再診するなど通常の診療に移行した者。

県外検査実施機関での検査実施等について

■ 県外検査について（H24.9.3現在）

県外検査概要

- 甲状腺検査専門委員会診断等基準等検討部会で推薦された113の医療機関に検査協力を依頼。
- 上記113機関のうち、71施設の検査機関との協定締結により検査が可能(平成24年9月3日現在)となり、平成24年9月上旬に甲状腺検査対象者に対して県外検査のお知らせを発送。
- すでに、福島県内で検査を実施した市町村の対象者に、順次お知らせを発送し、県外検査を実施。
- 現在調整中の検査機関については、協定書を締結次第、対象者に対して改めてお知らせを送付。なお、居住している都道府県以外の近隣の検査機関についても選択可能。

県外検査実施の流れ

- ①県外検査実施のお知らせを甲状腺検査対象者に発送。
- ②対象者から受診希望の検査機関を回答。
- ③検査場所、日時を県外検査機関と福島医大で調整。
- ④対象者に検査場所及び日時を通知。
- ⑤対象者が検査機関において検査受診。(完全予約制)
- ⑥検査結果を県外検査機関から福島医大に送付。
- ⑦福島医大にて検査結果を判定。
- ⑧検査結果を対象者に送付。

■ 県外検査実施スケジュール（案）

項目	内容等	H24.1～ H24.3	H24.4～ H24.7	H24.8～ H24.9	H24.10	備考
県外検査実施機関との協議	検査実施担当医師との協議及び内諾等					
	検査実施機関との協議（事務局ベース）					検査機器等確認、データ管理環境整備及び基準等確認
県外検査実施機関の決定、公表	検査実施機関の承諾、協定書の締結、公表、対象者へ「甲状腺検査」のお知らせ発送					交付金交付制度説明及び周知
県外検査実施機関において検査実施	医療機関との日程調整、県外避難者等に対する検査の実施					避難区域等市町村対象者より順次検査を実施